

【めざす学校像】

- 1 あいさつが交わされ、規律正しく笑顔があふれる学校
- 2 教師と子どもが信頼関係でつながっている学校
- 3 家庭や地域と手を携えて子どもを育てようとしている学校
- 4 学ぶ喜びのある学校
- 5 美しい環境にある学校

令和5年度 武生西小学校スクールプラン

【めざす教職員像】

- 1 信頼され挑戦する教職員
- 2 授業改善や業務効率化で力量を向上する教職員

【教育目標】



生きる力をはぐくみ、心豊かな西っ子の育成
「すこやかワールド 西っ子」

【めざす児童像】

- 進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○体をきたえる子

持続可能な社会の作り手を育む教育(ESD)を通して様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む

【重点項目】

A：深い学びのために

- 基礎的・基本的な知識技能の習得
- 学びを楽しむための個別最適な学習支援
- 考えを深め合う授業実践

B：健全な心を育むために

- あいさつと道徳教育の推進
- ◎お互いを認め合う活動
- 連携する教育実践

C：健康な体を育むために

- ◎健やかな心身と生活習慣の定着
- 体力づくりと運動技能の向上
- 健康教育・食育の推進

D：地区全体で「チーム西小」を築くために

- ◎保護者(P T A)や地域との連携
- 学校からの積極的情報発信
- 地域の学校・諸団体との連携

【具体的な取り組み】

- ①基礎的・基本的学力の定着を図る。
- ②個別指導や日本語指導など、個別最適な学習支援を積極的に行う。
- ③ペア・グループ学習を活用し、自分の考えを伝え、他の意見を聞く、学び合い、深い学びのある授業づくりに努める。
- ④ICT(情報通信機器)の双方向性を積極的・効果的に活用し、分かる授業の実践に努める。
- ⑤ICTの活用や読書活動によって、児童の情報活用能力や表現力等の向上を図る。
- ⑥校内研修を積極的に行い、教員の資質・能力の向上を図る。

- ①児童自ら考え、議論し、判断する道徳授業の指導法改善に努め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ②いじめ・不登校の未然防止・早期発見に努め、児童が安心できる「心の居場所づくり」、「絆づくり」に努める。
- ③特別支援教育を推進し、交流及び共同学習の実践・充実に努める。
- ④ダイバーシティ教育を通して、お互いの違いを理解し、お互いを尊重しようとする態度を育てる。
- ⑤体験活動や他者とのつながりを重視したライフキャリア教育を通して、自己肯定感を高める。
- ⑥関係機関との連携を深め、教育相談体制や支援体制の充実に努める。

- ①基本的な生活習慣と規範意識の定着を図るとともに、健康についての意識化を図る。
- ②命を大切に、自分の命は自分で守るという強い気持ちを育む。
- ③通信機器の利用時間、方法についての指導を徹底し、健全な生活習慣を育成する。
- ④安全点検や事故防止策の強化を図り、安心・安全な学校を目指す。
- ⑤体育の授業を中心に、児童の体力づくり推進を図る。
- ⑥給食指導や食育の授業等を通して、望ましい食習慣の育成に努める。

- ①地域の人材・資源を活用した教育活動の推進を図る。
- ②学校行事やホームページ等により、保護者・地域への情報発信を積極的に行う。
- ③学校公開日に、ICT(学習者の双方向性)を活用した授業(道徳を含む)を公開する。
- ④幼保・小・中間の連携を深め、家庭、地域の協力を得ながら課題解決を図る。
- ⑤保護者の理解のもと家庭教育の積極的な啓発を行う。
- ⑥PDCAサイクルでの学校評価の実施とその改善を推進する。

【数値目標】

- ◎発表したり、友達の意見を聞いて考えたりすることができている。【児80%】
- ◎自分の考えを伝えたり、意見を聞いて考えたりする授業づくりに努めている。【教90%】
- ◎タブレットを活用してわかる授業づくりに取り組んでいる。【教90%】

- ◎学校、家、地域であいさつができている。【児80%】
- ◎いじめ早期発見のために日頃からの声かけ、定期的なアンケート、ハートほっと週間の取組を行っている。【教90%】
- ◎お互いの違いを認め合ったり、相手を思いやったりすることができている。【児・教(指導)90%】

- ◎命を大切にする指導の徹底、健康や安全に気をつけた生活ができている。【教100% 児・保80%】
- ◎通信機器の適切な指導、「メディア・コントロールデー」の取組ができている。【教・児・保80%】

- ◎学年で学期一回の地域人材や地域資源を活用した取組を行っている。【教80%】
- ◎学校公開日に、ICT(双方向性)を活用した授業を行っている。【教90%】

E:子どもたちと向き合う時間を確保するために(業務改善等)

- ①時間外在校等時間月45時間以内を積極的に啓発 ②定時退庁日の退庁実行 ③働き方一人一取組

- ◎退勤時刻の正常化、毎週水曜日のノ一残業デーを実施する。【教80%】